

区自治協議会の活動・運営における 課題解決に向けた情報共有

江南区自治協議会

1. 目的

区自治協議会委員アンケートにより委員が感じている課題等が明らかとなり、今後のより良い協働の仕組みづくりに役立てるため、課題意識が高かった項目等について区自治協議会としての取り組みの方向性や意見をまとめ、次期委員に引き継ぐもの（期が終わる際に作成する振り返り資料に掲載）

2. アンケートで課題意識が高かった項目

- 1位：自治協議会の認知度向上について
- 2位：区民ニーズの把握方法について
- 2位：幅広い年代の委員の確保 ⇒市民協働課が検討
- 4位：地域課題の解決に向けた検討や話し合いの技術
- 5位：委員としてのスキルアップ

3. 第9期での取り組みの方向性

（1）区自治協議会の認知度向上について（課題意識1位）

- これまで、年間2回程度「江南区自治協議会通信」として区役所だより1面に自治協議会の活動内容などを掲載するほか、新潟ハーフマラソン会場へブース出展し、江南区のPRを行いました。引き続き区役所だよりやWEB、マスコミを活用した広報など「江南区自治協議会」の露出を高めていくことが重要と考えます。
- 江南区自治協議会の各部会では、各地区のコミュニティ協議会と協力し事業を行ってきました。（マップ作成やスポGOMI大会など）コミュニティ協議会との連携は区内各地域の特徴や課題の把握につながるとともに、事業を通じた区民の認知度向上も期待できることからコミュニティ協議会や地域と連携した事業の実施が望ましい。

（２）区民ニーズの把握方法について（課題意識２位）

- 江南区自治協議会では、令和２年度に環境・教育部会で区の現状や目指したい将来の姿などについて中学生を対象にアンケートを実施しました。アンケートは区民ニーズの把握の１つの手段ですが、調査目的をはっきりと決めて実施することが重要と考えます。

（３）委員研修について（課題意識４位５位関連）

- 研修会やワークショップの場は委員同士のコミュニケーションが取れる一つの手段となり、自治協議会の活性化につながることから実施する方が望ましい。